

自己評価・学校関係者評価 報告書

おおぶち そよ風こども園

1、本園の教育・保育目標

「げんきなからだ かんがえるちから やさしいところ」の教育目標に向けて、温かい雰囲気の中で子どもが安心して過ごし、豊かな環境の中で様々な体験を通して学びを支える。

2、本年度の園評価の具体的な目標や計画

- ・ こども園開園初年度であるため、保護者や地域に情報公開をすることで、園の様子を伝える。
- ・ 1号認定児、2号認定児、3号認定児やその保護者のそれぞれの立場や考えを十分に理解した上で、行事などの対応を行う。
- ・ 園内研修を通して、園目標などの園の基本的な事項についての再確認を行い、共通理解をする。

3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	理由
1、園の基本事項について職員の共通理解を図る。	B	職員間の共通理解はほぼできたと思うが、教育・保育の充実を図る為に、もっと園内研修や法人研修を活性化していきたい。
2、行事の充実を図る。	B	1号児にも配慮した日程や、要望のあった行事を取り入れることなどを行うことで、1号認定児、2号認定児、保護者もこども園の運営に満足するように努めてきたが、もっと工夫することができたのではないと思う。
3、保護者や地域の方への情報公開をする。	B	保護者へ園における教育・保育の様子を伝えるために、メールで画像を送信したり、写真を玄関に掲示したりして情報発信に努めてきたが、保護者に伝わっていないこともあるため、伝える伝え方を考えて取り組んでいきたい。

4、本年度の園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	こども園開園初年度であるため、法人の理念である、子ども一人ひとりを大切にした教育保育を行いながら、子ども、保護者、地域の期待に応えるために、職員が登園時と降園時に玄関に立ち、保護者などからの意見を聞く場を設けてきた。 情報発信として、メールの送信やおたよりの配布、ホームページの掲載などを行っているが、見ていなかったり、不足だと感じたりしている方もいるため、今まで以上に情報発信に力を入れていきたい。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
職員の資質向上を図る。	園内研修、法人研修、外部研修、自己研修の充実を図り、職員自らが主体的に取り組むことで、教育・保育の向上を目指す。
保護者や地域のニーズに応える。	保護者や地域の方の声を積極的に聞く場を設けていき、子どもの最善の利益となるような教育・保育の提供をしていく。
保護者や地域の方への情報発信の充実を図る。	保護者や地域の方へ伝わる発信方法を考えて、園内外に本園の教育・保育を伝えていく。

「3. 4」の評価結果の表示方法

評価	結果の表示
A	十分に達成している
B	ほぼ達成している
C	取り組んでいるが、成果が十分ではない
D	取り組みが不十分である